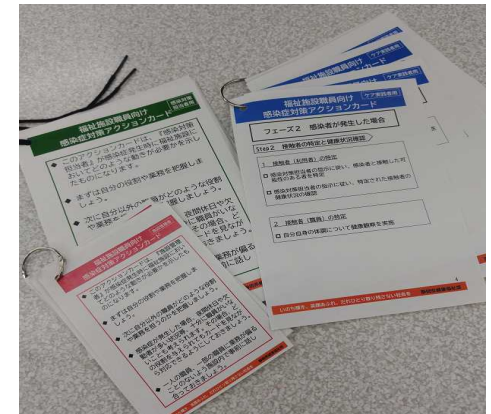


アクションカードとは

- ◆ 災害発生時のスタッフの『行動指標カード』
- ◆ できるだけ効率よく災害初動対応を行うことを目的として作られたもの
- ◆ それぞれのアクションカードには、マニュアル（又はBCP）に準じて、個々の役割に対する具体的な指示が書き込まれている。
- ◆ その役割に就いた人がアクションカードを読めば、必要な行動が分かるようになっている。
- ◆ アクションカードを用いて訓練やシミュレーションを行い、マニュアル(又はBCP) 同様に修正を行っていく必要がある。
- ◆ 今回はこの考え方を基に『感染症発生時』の対応についてまとめました。



(日本災害看護学会ホームページ一部改編)

アクションカードの使い方

- ◆ このアクションカードは、感染症発生時に福祉施設においてどのような動きが必要かを示したものになります。
- ◆ まずは自分の役割や業務を把握しましょう。
- ◆ 次に自分以外の職員がどのような役割や業務を担うのかを確認しましょう。
- ◆ 感染症が発生した場合、夜間休日や欠勤者が多い状況等、十分に職員がいないことも考えられます。その場合、どの役割を与えられてもカードを見ながら対応できるようにしておきましょう。
- ◆ 一人の職員、一部の職員に業務が偏ることのないよう施設内で事前に話し合っておきましょう。
- ◆ フェーズやStepは定めていますが、同時に進めなければならなかったり、フェーズが一気に進むことも想定されます。必ずしも、フェーズやStepどおりに進めなければならぬものではありません。